

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

【 北九州市 】

1 実践テーマ	III
2 実施対象者	星ヶ丘小学校 4学年 (99名) 全学年 (544名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間 ・国語科 ) 4年生 ② 行事名 ( 持久走大会 ) 全学年
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な出会いと体験を軸にして、障害のある方や高齢者の生活の工夫を知り、やさしさのあるまちづくり（共生する社会）について考える。</li> <li>・ 誰もが気持ちよく幸せに生きるために必要なことについて、自分の考えをもち、「ドリームマップ」（自分の夢を描く）を作成・発信することで、自己と他者を肯定しながら、未来に向けて、前向きに生きていこうとする心情を養う。</li> <li>・ 総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」において、国語科や道徳科との横断的・総合的な関連を図りながら、問題解決的な学習を繰り返すことで、探求的な学習過程の質的向上を図る。</li> </ul>
5 取組内容	<p>○ 国語科「だれもが関わり合えるように」との関連授業 アイマスク・点字・高齢者の疑似体験などの活動を通して、気付いたことや、知りたいことについて、一人一人が調べ学習を行い発表した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">点字体験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">ブラインドランチの様子</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;">   </div> <p>○ 総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」で、実際に障害のある方と出会い、共生社会について考える。</p> <p>出会い（1） 「生き方デザイン研究所」の方と出会い、障害のある方の生活の工夫や生き方について知る。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="font-size: small;"> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盲導犬ユーザーの方の話</li> <li>・ 身体が不自由な方の話</li> </ul> <p>障害のある方への接し方や、自分たちができることについて考えることができた。</p> </div> </div> <p>出会い（2）落水洋介さんの講演を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感謝の力（当たり前のことのできるありがたさ）</li> <li>・ 明るい未来を見て行動する力（考え方、行動が世界を変える）</li> </ul>

- ・あきらめない力
- ・応援の力（仲間の大切さ）

100万人に1人の難病にかかったにもかかわらず、明るく前向きで、「今が一番幸せ」と語る落水さんの話に、子どもたちはとても惹き付けられ、真剣に聞き入っていた。



### ○ オリンピック・パラリンピックに関する学習

(1) 「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」及びDVDをもとに、オリンピック・パラリンピックの理念や価値について触れ、掲示物や図書資料などで、興味・関心をもった。



道徳科「車いすの青春」では、元アイススレッジスピードレース金メダリスト松江美季選手をとりあげた。目標に向かい粘り強くやり遂げようとする姿勢に多くの児童が共感していた。



(2) パラリンピックの競技、シッティングボールの体験を行った。リオパラリンピックの試合の映像を見て、ルールを調べ、自分たちにできるルールを考え、実践した。



準備運動として行った鬼ごっこ



シッティングバレーボールの体験

リレーや鬼ごっこ、グループで試合をするなど、いろいろな活動が体験でき、楽しく取り組むことができた。

他の競技（ボッチャやゴールボール）などにも興味をもち、ルールや日本選手について調べたいと意欲をもった。

### ○ 「やさしさのあるまちづくり」の発表会

学習してきたことをもとに、それぞれが課題を決め、グループに分かれ調べ学習を行い、劇、紙芝居、壁新聞などで発表する。

#### 課題別グループ

①点字の世界②手話について③バリアフリー④ユニバーサルデザイン⑤障害のある方への接し方⑥盲導犬・介助犬⑦ピクトグラム⑧障害のある方のスポーツ⑨パラリンピックについて

### ○ ドリームマップ授業

生き方デザイン研究所の方との交流で、これからの生き方や自分の夢について考えをまとめ（ドリームマップの作成）、2分の1成人式で発表する。

### ○ 土曜日授業 持久走大会

元オリンピック選手の小嶋由水選手を招聘し、講話の後、一緒に走っていただき、走る楽しさを体感する。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験的な学習を積むことで、オリンピックやパラリンピックがより身近なものとして考えられるようになった。</li> <li>○ ドリームマップの作成・発信で、夢をもつことの大切さやあきらめずに挑戦すること、周りの人への感謝の気持ちなどについて見つめ直す良い機会となった。</li> <li>○ シットイングバレーボールの実演により、ゲームの楽しさや難しさ、みんなで協力する大切さを味わうことができた。またルールや道具を工夫することで、誰もが楽しめることを実感していた。</li> <li>○ 障害をもった方も、周りの方の支えや工夫で、生き生きと生活できることに気づき、自分たちにできることを実践しようとする意欲をもつことができた。</li> <li>○ 体験や講話を通して人間の強さ、生きがい、自己と他者を肯定して前向きに生きていこうとする気持ちをもつことができた。</li> </ul> <p>【児童の感想から】 生き方デザイン研究所の方や落水さんの話から</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当たり前なのに感謝して、仲間や家族を大切にしたい。</li> <li>・ 明るい未来を考えて、前向きに考える練習をして、落水さんのように明るい人になりたい。いろいろなことにチャレンジしたい。</li> <li>・ どんな状況でも、笑顔で乗り越えた落水さんは、すごい人だと思う。</li> <li>・ 身体が不自由でも、工夫次第で、仕事したり、生活したりできるので、ほくも勇気がでた。</li> <li>・ 身体が不自由な人に出会ったら、どんな声をかければいいのか分かった。盲導犬の接し方も分かったが、もっと知りたい。</li> </ul> </div> <p>シットイングバレーボールを体験した感想</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像で見ると、簡単そうだったけど、すわったまま動くというのは、とてもむずかしかった。選手のすごさが分かった。ルールを変えると、楽しくできることが分かった。</li> <li>・ 私は、運動は苦手だけど、みんなと声を掛け合ってパスを回すのが楽しかった。仲間と協力し合うのが大切だと思った。</li> <li>・ 他の競技もしてみたい。パラリンピックに興味をもった。パラリンピックで本物のシットイングボールを見てみたい。</li> </ul> </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間だけでなく、国語科、道徳科、体育科などと横断的、統合的に関連付け、繰り返し問題解決的な学習が展開されるように工夫した。</li> <li>○ オリンピック・パラリンピックに興味をもたせるため、映像や図書資料を準備したり、掲示したりするなど環境作りに配慮した。</li> <li>○ 疑似体験、競技の実演など体験学習を多く取り入れ、実感を伴った学習になるようにした。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度当初、教育課程に位置付けているものといないものがあり、実践を進めていく上で、計画を見直す必要があった。</li> <li>○ オリンピック・パラリンピックの出場経験者を自校で招聘するには、限度があるため(情報不足・予算不足)、広く情報提供していただくと、より効果的な取組ができると考える。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2020年の東京大会に向け、オリンピック・パラリンピック出場経験者と触れ合う機会を設けて、価値ある体験活動を行う予定。</li> </ul>